

タイトルの「MIKATA」とは、三方原の三方、利用者の皆様の味方、いろいろな角度からの見方の意味を込めました。
地域医療連携室より地域の皆様へ最新情報をお伝えします。

Feature

ベテルてんかんセンターのご紹介

2024年10月多職種連携の「ベテルてんかんセンター」を設立しましたのでご紹介いたします。



ベテルてんかんセンターセンター長

山添 知宏 (ヤマザキ トモヒロ)

三重大学 (2004年)

専門領域：てんかん、てんかん外科
機能神経外科領域



小児科 医長

吉村 歩 (ヨシムラ アユミ)

浜松医科大学 (2005年)

専門領域：小児一般／小児神経



精神科 部長

西村 克彦 (ニシムラ カツヒコ)

筑波大学 (2000年)

専門領域：臨床精神医学

近隣病院の皆様へのメッセージ

てんかんは1000人に5-8人と稀な病気ではありません。抗てんかん薬1剤で発作消失がえられる方から、様々な内服薬を試しても発作消失に至らない方、てんかん発作と類似する心因性非てんかん発作 (PNES) を有する方まで様々な病態があります。てんかん発作は全身痙攣のみならず、ボーッとするような意識減損発作もあり、QOLを低下させます。このようなQOL低下がみられるてんかん患者さんへ治療・福祉サービス利用の助言等を提供し、より良い生活が営めるように支援を行うことを目標とします。

appeal

当センターの強み



1. 複数診療科での連携診療

紹介について

中学生までは小児科、それ以降はてんかん・機能神経外科までご紹介ください。ご希望があれば、中学生未満でもてんかん・機能神経外科への紹介もお受けいたします。

当センターは、てんかん・機能神経外科、脳神経外科、小児科、精神科で連携しています。小児てんかんに対しては小児科での内科的治療、成人てんかん・薬剤抵抗性てんかんに対する外科治療はてんかん・機能神経外科（脳神経外科）で診療を行います。精神症状を合併するてんかんに対しては、精神科との併診で診療を行います。

2. 多職種連携でのてんかん患者さんへの支援

医療スタッフからの医療福祉サービスに関するアドバイス等の提供体制を構築し、近隣医療機関とてんかん診療に対する連携を行うことを目標としています。

3. 長時間ビデオ脳波検査

てんかんの診断は発作症状の問診が重要ですが、問診では判然としないこともあります。てんかん発作かどうか、てんかん発作であればどの診断になるかを決定するために入院で行う長時間ビデオ脳波検査が有用です。

てんかん発作が疑われる方、抗てんかん薬内服にもかかわらず、てんかん発作が消失していない方、副作用で抗てんかん薬内服継続が困難な方など、是非ご紹介ください。

ご予約・お問い合わせ 地域医療連携室までご連絡ください

【連携室直通】0120-811-559 / 053-439-0001 【FAX番号】 053-439-0002

【受付時間】月～金：8時30分～19時00分 / 土：8時30分～13時00分 / 祝祭日は除く